

## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

2021年2月1日  
上場取引所 東

上場会社名 京セラ株式会社  
 コード番号 6971 URL <https://www.kyocera.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 谷本 秀夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員常務 (氏名) 青木 昭一 TEL 075-604-3500  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向けカンファレンスコール)

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	1,100,534	△8.1	42,983	△54.7	87,216	△38.4	63,931	△36.9	48,798	△84.0
2020年3月期第3四半期	1,196,885	△1.4	94,860	56.6	141,629	36.1	101,265	27.5	304,451	381.1

	基本的1株当たり親会社の所有者に帰属する四半期利益	希薄化後1株当たり親会社の所有者に帰属する四半期利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	176.39	176.39
2020年3月期第3四半期	279.58	279.51

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社の所有者に帰属する持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	3,229,081	2,451,426	2,427,540	75.2
2020年3月期	3,250,175	2,454,242	2,432,134	74.8

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	80.00	—	80.00	160.00
2021年3月期	—	60.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	60.00	120.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり親会社の所有者に帰属する当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	1,500,000	△6.2	75,000	△25.1	120,000	△19.4	88,000	△18.3	242.80	

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

「基本的1株当たり親会社の所有者に帰属する当期利益」は、2021年3月期第3四半期(累計)の期中平均株式数を用いて算出しています。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	377,618,580株	2020年3月期	377,618,580株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	15,177,338株	2020年3月期	15,186,354株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	362,438,683株	2020年3月期3Q	362,206,966株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 将来の見通しに関する記述等について

当決算短信に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点で入手できる情報に鑑みて、当社が予想を行い、所信を表明したものであり、既知及び未知のリスク、不確実な要因及びその他の要因を含んでいます。これらのリスク、不確実な要因及びその他の要因は下記を含みますが、これらに限られるものではありません。

- (1) 日本及び世界経済の一般的な状況
- (2) 当社が事業や輸出を行う国における経済、政治、法律面の諸条件の想定外の変化
- (3) 為替レートの変動が当社の事業実績に及ぼす影響
- (4) 当社製品が直面する激しい競争による圧力
- (5) 当社の生産活動に用いられる原材料のサプライヤーの供給能力及びその価格の変動
- (6) 外部委託先や社内工程における製造の遅延又は不良の発生
- (7) 今後の取り組み又は現在進行中の研究開発が期待される成果を生まない事態
- (8) 買収した会社又は取得した資産から成果や事業機会が得られない事態
- (9) 優れた人材の確保が困難となる事態
- (10) サイバー攻撃等により当社の情報セキュリティが被害を受ける事態及びその復旧や維持に多額の費用が必要となるリスク
- (11) 当社の企業秘密及び特許を含む知的財産権の保護が不十分である事態
- (12) 当社製品の製造及び販売を続ける上で必要なライセンスにかかる費用
- (13) 既存の法規制又は新たな法規制への意図しない抵触
- (14) 環境規制の強化による環境に関わる賠償責任及び遵守義務の負担
- (15) 世界的な気候変動に関連する諸課題への対応遅れによるコスト増や企業ブランドの低下を招く事態
- (16) 疾病・感染症の発生・拡大、テロ行為、国際紛争やその他類似の事態が当社の市場及びサプライチェーンに及ぼす影響
- (17) 地震その他の自然災害によって当社の本社や主要な事業関連施設並びに当社のサプライヤーや顧客が被害を受ける事態
- (18) 売掛債権の信用リスク
- (19) 当社が保有する金融商品の価値の変動
- (20) 当社の有形固定資産、のれん並びに無形資産の減損処理
- (21) 繰延税金資産及び法人税等の不確実性
- (22) 会計基準の変更

上記のリスク、不確実な要因及びその他の要因により、当社の実際の業績、事業活動、展開又は財政状態は、将来の見通しに明示又は黙示される将来の業績、事業活動、展開又は財政状態と大きく異なる場合があります。当社は当決算短信に含まれている将来の見通しについて、その内容を更新し公表する責任を負いません。

2. 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

3. 決算補足説明資料の入手方法について

四半期決算補足説明資料は、同日当社ホームページに掲載しています。

## 【添付資料】

## ○ 目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	5
(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明 .....	6
2. 経営基盤の強化に向けた組織再編の実施 .....	8
3. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	9
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	9
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	11
(要約四半期連結損益計算書) .....	11
(要約四半期連結包括利益計算書) .....	12
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	13
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	14
(継続企業の前提に関する注記) .....	14

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## &lt;連結業績&gt;

当第3四半期連結累計期間（2020年4月1日から2020年12月31日まで）は、新型コロナウイルス感染症の拡大による景気悪化の影響が徐々に緩和されたものの、部品事業、機器・システム事業ともに、前第3四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年12月31日まで）に比べ、減収減益となりました。

部品事業は、5G対応スマートフォン向け部品や半導体製造装置用ファインセラミック部品等の売上が拡大した一方で、自動車関連市場や各種産業機械市場向けの売上が、前第3四半期連結累計期間を下回りました。機器・システム事業は、プリンターや複合機等の機器及び消耗品の需要減を主因に減収となりました。この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は前第3四半期連結累計期間に比べ963億51百万円（8.1%）減少の1兆1,005億34百万円となりました。

利益については、減収の影響に加え、スマートエナジー事業（注）において減損損失115億18百万円を計上したことにより、前第3四半期連結累計期間に比べ減少しました。営業利益は前第3四半期連結累計期間に比べ518億77百万円（54.7%）減少の429億83百万円、税引前利益は同544億13百万円（38.4%）減少の872億16百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は同373億34百万円（36.9%）減少の639億31百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間の平均為替レートは、対米ドルは前第3四半期連結累計期間に比べ3円（2.8%）円高の106円、対ユーロは1円（0.8%）円安の122円となりました。この結果、当第3四半期連結累計期間の邦貨換算後の売上高は、前第3四半期連結累計期間に比べ約100億円、税引前利益は約10億円押し下げられました。

## 【連結業績】

(百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年 4月 1日 至 2019年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2020年 4月 1日 至 2020年12月31日)		増 減	
	金 額	売上高比 (%)	金 額	売上高比 (%)	増減金額	増減率 (%)
売上高	1,196,885	100.0	1,100,534	100.0	△96,351	△8.1
営業利益	94,860	7.9	42,983	3.9	△51,877	△54.7
税引前利益	141,629	11.8	87,216	7.9	△54,413	△38.4
親会社の所有者に帰属する四半期利益	101,265	8.5	63,931	5.8	△37,334	△36.9
米ドル平均為替レート (円)	109	—	106	—	—	—
ユーロ平均為替レート (円)	121	—	122	—	—	—
設備投資額	83,027	6.9	89,123	8.1	6,096	7.3
有形固定資産 減価償却費	45,313	3.8	54,011	4.9	8,698	19.2
研究開発費	58,908	4.9	54,242	4.9	△4,666	△7.9

(注) 2020年4月1日付で、ソーラーエネルギー事業の名称をスマートエナジー事業へ変更しました。

## &lt;連結事業セグメント別の業績&gt;

## ① 産業・自動車用部品

当第3四半期連結累計期間の売上高は、前第3四半期連結累計期間の2,537億54百万円と比較し、47億48百万円(1.9%)増加の2,585億2百万円となりました。自動車関連市場向けのディスプレイ等の売上は減少したものの、M&Aの貢献に加え、半導体製造装置用ファインセラミック部品等の売上が増加しました。

一方、事業利益は、自動車関連市場向け製品の減収の影響に加え、減価償却費の増加等もあり、前第3四半期連結累計期間の124億44百万円に比べ29億44百万円(23.7%)減少の95億円となりました。

## ② 半導体関連部品

当第3四半期連結累計期間の売上高は、前第3四半期連結累計期間の1,870億90百万円と比較し、62億15百万円(3.3%)増加の1,933億5百万円となりました。車載向け有機多層ボード等の需要が減少したものの、5G対応スマートフォン向けにセラミックパッケージの需要は堅調に推移しました。

一方、事業利益は、有機材料事業の減収に加え、減価償却費の増加等もあり、前第3四半期連結累計期間の229億98百万円に比べ35億7百万円(15.2%)減少の194億91百万円となりました。

## ③ 電子デバイス

当第3四半期連結累計期間の売上高は、前第3四半期連結累計期間の2,487億80百万円と比較し、271億8百万円(10.9%)減少の2,216億72百万円となりました。主に産業機械市場や自動車関連市場等においてAVX Corporationの売上が減少したことを主因に、減収となりました。

事業利益は、減収を主因に、前第3四半期連結累計期間の364億74百万円に比べ197億88百万円(54.3%)減少の166億86百万円となりました。

## ④ コミュニケーション

当第3四半期連結累計期間の売上高は、前第3四半期連結累計期間の1,981億28百万円と比較し、332億2百万円(16.8%)減少の1,649億26百万円となりました。携帯電話端末の販売台数が減少したことに加え、エンジニアリング事業の売上減もあり、減収となりました。

事業利益は、原価低減に努めた結果、前第3四半期連結累計期間の70億66百万円とほぼ横ばいの69億6百万円となり、事業利益率は改善しました。

## ⑤ ドキュメントソリューション

当第3四半期連結累計期間の売上高は、前第3四半期連結累計期間の2,675億24百万円と比較し、414億43百万円(15.5%)減少の2,260億81百万円となりました。当第1四半期連結累計期間(2020年4月1日から2020年6月30日まで)以降、需要の回復は見られたものの、前第3四半期連結累計期間の水準には及ばず、機器及び消耗品の売上が減少しました。

事業利益は、減収の影響により、前第3四半期連結累計期間の274億98百万円に比べ91億47百万円(33.3%)減少の183億51百万円となりました。

## ⑥ 生活・環境

当第3四半期連結累計期間の売上高は、前第3四半期連結累計期間の542億20百万円と比較し、83億97百万円(15.5%)減少の458億23百万円となりました。主にスマートエナジー事業における太陽光発電システム等の販売減により、減収となりました。

事業損失は、減収の影響に加え、スマートエナジー事業において有形固定資産及びのれん等の減損損失115億18百万円を計上したことにより、前第3四半期連結累計期間の74億17百万円に比べ134億57百万円増加し、208億74百万円となりました。

## 【事業セグメント別売上高】

(百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年 4月 1日 至 2019年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2020年 4月 1日 至 2020年12月31日)		増 減	
	金 額	構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	増減金額	増減率 (%)
産業・自動車用部品	253,754	21.2	258,502	23.5	4,748	1.9
半導体関連部品	187,090	15.6	193,305	17.6	6,215	3.3
電子デバイス	248,780	20.8	221,672	20.1	△27,108	△10.9
部品事業計	689,624	57.6	673,479	61.2	△16,145	△2.3
コミュニケーション	198,128	16.6	164,926	15.0	△33,202	△16.8
ドキュメントソリューション	267,524	22.3	226,081	20.5	△41,443	△15.5
生活・環境	54,220	4.5	45,823	4.2	△8,397	△15.5
機器・システム事業計	519,872	43.4	436,830	39.7	△83,042	△16.0
その他	12,510	1.1	12,746	1.2	236	1.9
調整及び消去	△25,121	△2.1	△22,521	△2.1	2,600	—
売上高	1,196,885	100.0	1,100,534	100.0	△96,351	△8.1

## 【事業セグメント別利益（△損失）】

(百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年 4月 1日 至 2019年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2020年 4月 1日 至 2020年12月31日)		増 減	
	金 額	売上高比 (%)	金 額	売上高比 (%)	増減金額	増減率 (%)
産業・自動車用部品	12,444	4.9	9,500	3.7	△2,944	△23.7
半導体関連部品	22,998	12.3	19,491	10.1	△3,507	△15.2
電子デバイス	36,474	14.7	16,686	7.5	△19,788	△54.3
部品事業計	71,916	10.4	45,677	6.8	△26,239	△36.5
コミュニケーション	7,066	3.6	6,906	4.2	△160	△2.3
ドキュメントソリューション	27,498	10.3	18,351	8.1	△9,147	△33.3
生活・環境	△7,417	—	△20,874	—	△13,457	—
機器・システム事業計	27,147	5.2	4,383	1.0	△22,764	△83.9
その他	△3,133	—	△1,700	—	1,433	—
事業利益計	95,930	8.0	48,360	4.4	△47,570	△49.6
本社部門損益及び 持分法による投資損益	46,297	—	40,201	—	△6,096	△13.2
調整及び消去	△598	—	△1,345	—	△747	—
税引前利益	141,629	11.8	87,216	7.9	△54,413	△38.4

(注) 2020年4月1日に、「コミュニケーション」に含まれる当社国内子会社 京セラコミュニケーションシステム(株)が、「生活・環境」に含まれていた同 (株)京セラソーラーコーポレーションを吸収合併しました。これに伴い、上記の「前第3四半期連結累計期間」の業績は、吸収合併後の事業セグメントに組み替えて表示しています。

## (2) 財政状態に関する説明

## &lt;連結キャッシュ・フローの状況&gt;

現金及び現金同等物の当四半期末残高は、当期首残高の4,196億20百万円に比べ543億54百万円減少し、3,652億66百万円となりました。

## ① 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第3四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・インは、前第3四半期連結累計期間の1,492億68百万円に比べ40億38百万円増加し、1,533億6百万円となりました。これは主に四半期利益が減少したものの、前第3四半期連結累計期間に増加した棚卸資産が、当第3四半期連結累計期間に減少したことによるものです。

## ② 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第3四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・アウトは、前第3四半期連結累計期間の1,320億71百万円に比べ10億74百万円増加し、1,331億45百万円となりました。これは、M&Aによる支出が減少した一方で、設備投資や有価証券の購入が増加したことに加えて、不動産売却収入や債券の満期償還等が減少したことによるものです。

## ③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第3四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・アウトは、前第3四半期連結累計期間の1,013億6百万円に比べ287億49百万円減少し、725億57百万円となりました。これは主に借入金の返済が減少したことによるものです。

## 【連結キャッシュ・フロー】

(百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年 4月 1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年 4月 1日 至 2020年12月31日)	増減金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	149,268	153,306	4,038
投資活動によるキャッシュ・フロー	△132,071	△133,145	△1,074
財務活動によるキャッシュ・フロー	△101,306	△72,557	28,749
現金及び現金同等物に係る換算差額	△245	△1,958	△1,713
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△84,354	△54,354	30,000
現金及び現金同等物の期首残高	512,814	419,620	△93,194
現金及び現金同等物の四半期末残高	428,460	365,266	△63,194

## (3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

当連結会計年度（2020年4月1日から2021年3月31日まで）の通期業績予想は、2020年4月の公表数値から変更ありません。

当第3四半期連結累計期間は、前第3四半期連結累計期間に比べ減収減益となったものの、当第1四半期連結累計期間を底に業績の回復が進みました。当第4四半期連結会計期間（2021年1月1日から2021年3月31日まで）は、依然として新型コロナウイルス感染症に対する懸念は残るものの、部品事業においては引き続き、5G関連や半導体市場向けの需要が予想されるとともに、機器・システム事業においては、新製品投入により売上げが見込まれます。

当社は、徹底したコスト削減の継続及びさらなる生産性向上への取り組みを進め、通期業績予想の達成を目指します。

なお、平均為替レート、設備投資額及び研究開発費、並びに事業セグメント別の業績予想については、当第3四半期連結累計期間の実績及び今後の見通しに鑑み修正しています。

これらの将来予測情報については、【サマリー情報】「※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項 1. 将来の見通しに関する記述等について」をご参照ください。

## 【通期連結業績予想】

(百万円)

	2020年3月期 実績		2021年3月期 予想		増 減	
	金 額	売上高比 (%)	金 額	売上高比 (%)	増減金額	増減率 (%)
売上高	1,599,053	100.0	1,500,000	100.0	△99,053	△6.2
営業利益	100,193	6.3	75,000	5.0	△25,193	△25.1
税引前利益	148,826	9.3	120,000	8.0	△28,826	△19.4
親会社の所有者に帰属する当期利益	107,721	6.7	88,000	5.9	△19,721	△18.3
米ドル平均為替レート (円)	109	—	105	—	—	—
ユーロ平均為替レート (円)	121	—	* 123	—	—	—
設備投資額	106,003	6.6	* 110,000	7.3	3,997	3.8
有形固定資産 減価償却費	62,413	3.9	75,000	5.0	12,587	20.2
研究開発費	79,241	5.0	* 75,000	5.0	△4,241	△5.4

\* 2020年4月公表予想（前回予想）から修正しています

前回予想：ユーロ平均為替レート 115円、設備投資額 100,000百万円、研究開発費 80,000百万円

## 【事業セグメント別売上高】

(百万円)

	2020年3月期 実績		2021年3月期 予想				前期比 増減率 (%)
			前回 (2020年10月29日公表)		今回 (2021年2月1日公表)		
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	
産業・自動車用部品	341,093	21.3	330,000	22.0	350,000	23.3	2.6
半導体関連部品	247,228	15.5	245,000	16.3	255,000	17.0	3.1
電子デバイス	324,113	20.3	316,000	21.1	300,000	20.0	△7.4
部品事業計	912,434	57.1	891,000	59.4	905,000	60.3	△0.8
コミュニケーション	270,818	17.0	241,000	16.1	234,000	15.6	△13.6
ドキュメントソリューション	359,915	22.5	313,000	20.8	316,000	21.0	△12.2
生活・環境	73,747	4.6	67,000	4.5	64,000	4.3	△13.2
機器・システム事業計	704,480	44.1	621,000	41.4	614,000	40.9	△12.8
その他	16,737	1.0	19,000	1.3	16,000	1.1	△4.4
調整及び消去	△34,598	△2.2	△31,000	△2.1	△35,000	△2.3	—
売上高	1,599,053	100.0	1,500,000	100.0	1,500,000	100.0	△6.2

## 【事業セグメント別利益（△損失）】

(百万円)

	2020年3月期 実績		2021年3月期 予想				前期比 増減率 (%)
			前回 (2020年10月29日公表)		今回 (2021年2月1日公表)		
	金額	売上高比 (%)	金額	売上高比 (%)	金額	売上高比 (%)	
産業・自動車用部品	15,813	4.6	13,000	3.9	17,000	4.9	7.5
半導体関連部品	30,511	12.3	30,000	12.2	28,000	11.0	△8.2
電子デバイス	31,744	9.8	30,000	9.5	28,000	9.3	△11.8
部品事業計	78,068	8.6	73,000	8.2	73,000	8.1	△6.5
コミュニケーション	11,259	4.2	11,000	4.6	12,000	5.1	6.6
ドキュメントソリューション	34,489	9.6	20,000	6.4	30,000	9.5	△13.0
生活・環境	△10,965	—	△14,000	—	△24,000	—	—
機器・システム事業計	34,783	4.9	17,000	2.7	18,000	2.9	△48.3
その他	△4,484	—	△4,000	—	△5,000	—	—
事業利益計	108,367	6.8	86,000	5.7	86,000	5.7	△20.6
本社部門損益等	40,459	—	34,000	—	34,000	—	△16.0
税引前利益	148,826	9.3	120,000	8.0	120,000	8.0	△19.4

(注) 2020年4月1日に、「コミュニケーション」に含まれる当社国内子会社 京セラコミュニケーションシステム(株)が、「生活・環境」に含まれていた同(株)京セラソーラーコーポレーションを吸収合併しました。これに伴い、上記の「2020年3月期 実績」は、吸収合併後の事業セグメントに組み替えて表示しています。

## 2. 経営基盤の強化に向けた組織再編の実施

当社は、さらなる成長力の強化に向け、現在16ある主要事業・子会社を、2021年4月1日付で新設する「コアコンポーネント」、「電子部品」、「ソリューション」の3事業セグメントの下に、また、管理部門を「コーポレート」に集約する組織再編を実施します。

翌連結会計年度（2021年4月1日から2022年3月31日まで）より、新たな組織体制のもと、一層のシナジー追求及び経営資源の効率的活用、並びに新製品・新事業開発の推進を図ります。

## ＜事業セグメント区分の変更＞

## 【現在】

事業セグメント	主要事業・子会社
産業・自動車用部品	ファインセラミック部品
	自動車部品
	ディスプレイ
	機械工具
	光学部品
半導体関連部品	セラミック材料
	有機材料
電子デバイス	電子部品
	AVX Corporation
	プリンティングデバイス
コミュニケーション	通信機器
	情報通信サービス (KCCS*1)
ドキュメントソリューション	情報機器 (KDC*2)
生活・環境	スマートエナジー
	医療機器
	宝飾・応用商品

## 【2021年4月1日以降】

事業セグメント	主要事業・子会社
コアコンポーネント	ファインセラミック部品
	自動車部品
	セラミック材料
	有機材料
	光学部品
	医療機器
	宝飾・応用商品
電子部品	電子部品
	AVX Corporation
ソリューション	機械工具
	ディスプレイ
	プリンティングデバイス
	情報機器 (KDC*2)
	通信機器
	情報通信サービス (KCCS*1)
スマートエナジー	

\*1 京セラコミュニケーションシステム株式会社

\*2 京セラドキュメントソリューションズ株式会社

## 3. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

	前連結会計年度 (2020年3月31日)		当第3四半期 連結会計期間 (2020年12月31日)		増減金額
	金額	構成比	金額	構成比	
	百万円	%	百万円	%	百万円
資産の部					
流動資産					
現金及び現金同等物	419,620		365,266		△54,354
短期投資	62,999		95,668		32,669
営業債権及びその他の債権	336,294		314,301		△21,993
その他の金融資産	11,035		13,945		2,910
棚卸資産	344,304		341,720		△2,584
その他の流動資産	28,455		28,238		△217
流動資産合計	1,202,707	37.0	1,159,138	35.9	△43,569
非流動資産					
資本性証券及び負債性証券	1,196,634		1,157,110		△39,524
持分法で会計処理されている投資	17,422		18,162		740
その他の金融資産	27,179		35,836		8,657
有形固定資産	383,271		415,335		32,064
使用権資産	34,921		34,340		△581
のれん	212,207		226,545		14,338
無形資産	118,533		122,262		3,729
繰延税金資産	40,434		39,798		△636
その他の非流動資産	16,867		20,555		3,688
非流動資産合計	2,047,468	63.0	2,069,943	64.1	22,475
資産合計	3,250,175	100.0	3,229,081	100.0	△21,094

	前連結会計年度 (2020年3月31日)		当第3四半期 連結会計期間 (2020年12月31日)		増減金額
	金額	構成比	金額	構成比	
	百万円	%	百万円	%	百万円
負債及び資本の部					
負債の部					
流動負債					
借入金	35,025		37,863		2,838
営業債務及びその他の債務	173,300		167,534		△5,766
リース負債	15,477		15,098		△379
その他の金融負債	1,544		2,585		1,041
未払法人所得税等	11,396		11,430		34
未払費用	114,983		99,337		△15,646
引当金	14,411		4,504		△9,907
その他の流動負債	31,373		37,765		6,392
流動負債合計	397,509	12.2	376,116	11.7	△21,393
非流動負債					
借入金	44,970		50,494		5,524
リース負債	31,847		30,425		△1,422
退職給付に係る負債	28,406		27,383		△1,023
繰延税金負債	271,317		264,881		△6,436
引当金	8,760		9,089		329
その他の非流動負債	13,124		19,267		6,143
非流動負債合計	398,424	12.3	401,539	12.4	3,115
負債合計	795,933	24.5	777,655	24.1	△18,278
資本の部					
資本金	115,703		115,703		—
資本剰余金	123,539		123,178		△361
利益剰余金	1,686,672		1,700,560		13,888
その他の資本の構成要素	575,495		557,335		△18,160
自己株式	△69,275		△69,236		39
親会社の所有者に帰属する持分合計	2,432,134	74.8	2,427,540	75.2	△4,594
非支配持分	22,108	0.7	23,886	0.7	1,778
資本合計	2,454,242	75.5	2,451,426	75.9	△2,816
負債及び資本合計	3,250,175	100.0	3,229,081	100.0	△21,094

## (2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年 4月 1日 至 2019年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2020年 4月 1日 至 2020年12月31日)		増 減	
	金 額	比 率	金 額	比 率	増減金額	増減率
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
売上高	1,196,885	100.0	1,100,534	100.0	△96,351	△8.1
売上原価	858,297	71.7	808,576	73.5	△49,721	△5.8
売上総利益	338,588	28.3	291,958	26.5	△46,630	△13.8
販売費及び一般管理費	243,728	20.4	248,975	22.6	5,247	2.2
営業利益	94,860	7.9	42,983	3.9	△51,877	△54.7
金融収益	46,590	3.9	44,706	4.1	△1,884	△4.0
金融費用	1,135	0.1	1,355	0.1	220	19.4
為替換算差損益	△882	△0.1	△1,025	△0.1	△143	—
持分法による投資損益	363	0.0	123	0.0	△240	△66.1
その他—純額	1,833	0.2	1,784	0.1	△49	△2.7
税引前利益	141,629	11.8	87,216	7.9	△54,413	△38.4
法人所得税費用	34,263	2.8	21,286	1.9	△12,977	△37.9
四半期利益	107,366	9.0	65,930	6.0	△41,436	△38.6

四半期利益の帰属：						
親会社の所有者	101,265	8.5	63,931	5.8	△37,334	△36.9
非支配持分	6,101	0.5	1,999	0.2	△4,102	△67.2
四半期利益	107,366	9.0	65,930	6.0	△41,436	△38.6

1株当たり情報						
親会社の所有者に帰属する 四半期利益：						
— 基本的	279円58銭		176円39銭			
— 希薄化後	279円51銭		176円39銭			

## (要約四半期連結包括利益計算書)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年 4月 1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年 4月 1日 至 2020年12月31日)	増減金額
	金額	金額	
四半期利益	百万円 107,366	百万円 65,930	百万円 △41,436
その他の包括利益—税効果控除後			
純損益に振り替えられることのない項目			
その他の包括利益を通じて 公正価値で測定する金融資産	206,405	△12,427	△218,832
確定給付制度の再測定	—	—	—
純損益に振り替えられることのない項目合計	206,405	△12,427	△218,832
純損益に振り替えられる可能性のある項目			
キャッシュ・フロー・ヘッジの 公正価値の純変動	△11	160	171
在外営業活動体の換算差額	△9,321	△4,844	4,477
持分法適用会社における その他の包括利益に対する持分	12	△21	△33
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△9,320	△4,705	4,615
その他の包括利益計	197,085	△17,132	△214,217
四半期包括利益	304,451	48,798	△255,653

四半期包括利益の帰属：			
親会社の所有者	299,420	46,469	△252,951
非支配持分	5,031	2,329	△2,702
四半期包括利益	304,451	48,798	△255,653

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

(百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の 資本の 構成要素	自己株式	合計		
2019年4月1日残高	115,703	165,225	1,638,709	418,643	△72,361	2,265,919	96,341	2,362,260
四半期利益			101,265			101,265	6,101	107,366
その他の包括利益				198,155		198,155	△1,070	197,085
四半期包括利益計	—	—	101,265	198,155	—	299,420	5,031	304,451
配当金			△57,935			△57,935	△2,705	△60,640
自己株式の取得					△19	△19		△19
自己株式の処分		1,700			3,112	4,812		4,812
非支配持分との取引等		△185		0		△185	1,580	1,395
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替			△1,159	1,159		—		—
2019年12月31日残高	115,703	166,740	1,680,880	617,957	△69,268	2,512,012	100,247	2,612,259

当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の 資本の 構成要素	自己株式	合計		
2020年4月1日残高	115,703	123,539	1,686,672	575,495	△69,275	2,432,134	22,108	2,454,242
四半期利益			63,931			63,931	1,999	65,930
その他の包括利益				△17,462		△17,462	330	△17,132
四半期包括利益計	—	—	63,931	△17,462	—	46,469	2,329	48,798
配当金			△50,741			△50,741	△843	△51,584
自己株式の取得					△11	△11		△11
自己株式の処分		17			50	67		67
非支配持分との取引等		△378				△378	292	△86
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替			698	△698		—		—
2020年12月31日残高	115,703	123,178	1,700,560	557,335	△69,236	2,427,540	23,886	2,451,426

(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。